



帝京大学硬式野球部

イヤーブック発刊に寄せて

帝京大学理事長・学長

冲永佳史

本学硬式野球部は、長年コーチを務めてこられた唐澤良一新監督を先頭に、今季より再出発を切りました。

春の静岡合宿から本格始動したチームですが、まずは春季首都大学リーグが、現在のチーム力がどのあたりにあるかを探る格好の機会となりました。

厳しい勝負の世界です。一瞬でも気を抜けば瞬く間にそれが結果として現れてしまいます。ましてや今季の首都リーグは、各大学ともに全国でも屈指のレベルにあると聞きます。

一枚岩となりチームが団結し、一歩一歩前に進んでいってほしいと思います。硬式野球部の皆さん、その先にある栄光を目指して、完全燃焼してください。

帝京大学事務局長 硬式野球部OB会相談役

前田憲正

昭和42年の秋に首都大学野球連盟に加盟した本学硬式野球部は、40年以上の歴史と伝統があるクラブです。その中で昭和46年の春、昭和61年の秋、平成9年の秋と計3度のリーグ優勝を達成してまいりました。

そして戦績もさることながら、学生野球として模範となるようなチームづくり、社会に出て活躍できるような人間づくり、そして実際のプレーにおいても、日本一を目指せるようなチームにしていきたいと、ここまで歩んでまいりました。

今後引き続き、これまでのOBに負けないよう、新たな歴史と伝統を刻んでいってほしいと思います。世の中に『帝京野球』の存在を轟かせてくれることを楽しみにしています。

帝京大学 八王子キャンパス事務局長 強化クラブ室室長

古張隆

今季、本学硬式野球部はユニフォームも新調し、新たな挑戦をしていくこととなりました。

昨シーズンは首都リーグの入れ替え戦に出場するなど、ある意味で不本意なシーズンとなりましたが、ここから再び立ち上がってほしいと願っております。

近年は伝統校に限らず、地方を中心に新しい大学野球部の躍進が目覚ましい状況ですが、だからこそその大学にもチャンスはあるはずで、

多田圭吾キャプテンを中心に、積極的なチャレンジで、一つでも多くの勝利を勝ち取ってほしいと思います。

帝京大学 八王子キャンパス 学生サポートセンター・グループリーダー
強化クラブ室 副室長

直井範行

本学硬式野球部は平成22年度のリーグ戦において、一部リーグ入れ替え戦、負ければ陥落という厳しい状況に置かれ地獄を覗くところまでいった。

この入れ替え戦において、唐澤コーチが監督代行となり直接野球部の試合の指揮を取り、また危機感を持った選手全員が一丸となって戦い、からも一部残留となることができました。

平成23年度は第八代・帝京大学硬式野球部監督、唐澤良一 体制で優勝を目指し頑張っていたきたい。

新指導体制のもと選手諸君には尚いっそうの練習に励んでいただき、それぞれ硬式野球部員全員が野球に携わっているんだ、全員がレギュラーであるとの認識の下、試合をする者、応援をする者それぞれが自分のやるべきことを力いっぱいやり、学生時代の歴史(自分史)に悔いを残すな、頑張ってください。



限りなき挑戦
Teikyo Spirits

A photograph of several baseball players in white uniforms with red and blue accents running on a dirt field. The players are in motion, with their legs and feet visible. The background is slightly blurred, emphasizing the action in the foreground.

志

限りなき挑戦
2011

どん底からのスタート

「想定外でした」
2011年、新チームになって最初の練習試合の後、キャプテンの多田圭吾は敗戦という結果にそう呟いて頂垂れた。この日の相手は、昨年の静岡学生野球で秋季リーグを制した日大国際関係学部。

公式戦では滅多に当たることがない他リーグの覇者が相手だが、首都大学リーグ一部の帝京大の力を考えればこの敗戦は受け入れ難い現実だった。
「もう少しやれると思ったんですけどね」
今年からコーチに就任した秋山満もそう答えるのが精一杯だ。

大敗にも動じない鉄の意志

しかし、この男の感想は違っていた。帝京大学硬式野球部監督の唐澤良一である。
「想定内ですよ。むしろ最初がこれで良かったと思っています」
そう語る唐澤から敗戦直後の悲壮感など微塵も感じられなかった。

理由は明白だった。昨秋から今春にかけて行われた大幅なコンバートが今回の大きな要因であったからだ。唐澤は「こうなる」とある程度予測していたのである。

この日、一塁を守った三年生の梅田薫紀は昨

年まで外野手でプレーしており、内野の球際を捌く動きに不慣れな面を見せている。遊撃手を守った境井将樹も経験が浅い新二年生。彼ら二人に代表されるようにこの日、スタメンで出場したメンバーのほとんどが昨秋のリーグ戦に登録すらされておらず経験不足は明らかだったのだ。

試合後、選手を集めて行われたミーティングで唐澤はけっして気持ちを荒立てることなく淡々と話し続けた。その姿はこちらから見て拍子抜けするほど穏やかだった。
「彼らも立派な大人ですから。いちいち言われなくても分かっていると思います。それよりも大事なのは彼らになんて負けたのかを自分の頭で考えさせること。今日エラーした選手には特守を課す予定ですが、そこでその意味が分かって

いないようなら今度こそ、レやしますよ」

豪快にそう言い放つと笑みがこぼれた。大阪生まれ、大阪育ち。敗戦理由をけっして選手のせいにはしない、今の時代には稀少な浪花節が似合う男だ。

長くチームを見てきたから、言えること

出身は大阪の上宮高校で、二下の後輩にはプロ野球でも活躍した元木大介(元巨人)や種田仁(元中日→横浜→西武→楽天)がいる。高校卒業後に帝京大学へ進学、在学中は二部落ちと入れ替え戦も経験しており、今のチーム状態から考えるとある意味心強い。

帝京大学を卒業後、社会人野球の東芝に

帝国再建の切札

監督 唐澤良一

自主、自立、自覚の確立

選手として4年間ここで鍛えられ、コーチとして12年間チームを見守り続けた。そして昨秋、満を持しての監督就任。帝京大学硬式野球部とはなんたるかを知り、その魂を今の学生に注入する男。チーム再建に向けて、唐澤良一がいざ立ち上がる。

進んだ。内野の貴重な戦力として都市対抗野球出場、日本選手権優勝の実績を残し、選手引退後は母校である帝京大学に戻り12年間、コーチを続けている。

「ずっとこのチームでコーチをやらせてもらっていませんけど、最初からうまくいったと違って不思議とあとがうまくいかない。学生って危機感を持つというより、変な安心感を持ってしまう方が強いんです」

近年の帝京大学硬式野球部の歴史を辿ると、首都リーグを優勝した翌年に下位に転落するケースがよく見られる。61年秋の優勝時は、翌春5位に、平成9年秋の優勝時には翌春4位に転落している。こうした歴史を唐澤は選手として、コーチとして見てきた。それだけにその言葉に説得力がある。

自主、自立、自覚、けっして他人に頼るな

唐澤が監督に就任して、もっとも選手に伝えたいこと。それが「自主、自立、自覚」だ。
「彼達は授業料を払って野球をやらせてもらっている立場ですからね。プロみたいに野球でお金を稼いでいるわけではないんです。大学の四年間というのは社会に出ていく上で一番大事な準備期間だと思うんです。ここにいる部員が全員プロで野球ができるかと思ったらそうではない。社会に出て人に使われるのがほとんどだと思うんです。そういう意味では野球以外のことが大事だったりしますし、掃除ひとつにしても落ちているゴミを見て見ぬふりをするんじゃない、気付いたことはどんどんやっつけていくという姿勢ですね。そういうものを身に付けさせたいです」

硬式野球部ではボランティアで相模湖地域のゴミ拾いを毎年行っている。また相模湖町の



Ryo Karasawa

あきやま みつる
1977年生まれ。大阪府出身。
今年1月から唐澤監督を支える
ため帝京大のコーチに就任。
大阪金光第一高校(現金光大
阪)→帝京大学→西多摩クラブ

技術を上げるための 自己管理

コーチ 秋山 満



Mitsuru Akiyama

時代の変化と共に選手の個性やチームの雰囲気がいぶ変わってきているのを最近すごく感じます。私は現役時代にリーグ優勝を経験しているんですが、現在のチームと比較すると選手が少し大人しすぎるかなと思っています。私たちの時代は練習を少し止めてでも、選手と選手が言い合ったり、時には指導者と言いつつそれがいいというわけではありません。しかし勝つ集団というのは、いつの時代も上級生も下級生も関係ない、締める部分は締めるという選手の潜在意識的なものがあります。もちろん選手同士でミスしたときに「ドゥマイン」って支えあうのもひとつの形だと思いが、やはり良い部分と悪い部分が混在してしまふ怖い一面がありますし、グラウンドに出れば先輩、後輩もない、同じフィールドで戦っているわけですからね。

そうすることによってチームの士気は上がっていきまふし、そこは今のチームでも注意しながら見えています。大学スポーツを見ると強い時代を作るチームは常に二、三年生の選手が四年生を追い抜く強い気持ちでやっています。それに四年生が引つ張られていくくらいが理想的でもありません。今年は昨年のリーグ最下位からチームを立て直すところから始まっています。勝つ集団をつくるのは人間づくりだと思っています。

す。たとえば野球の技術をひとつ教えて、パフォーマンスがすぐ上がるかと言われたらそうじゃないと考えています。私生活を含め自己管理ができないとやっぱり技術的な進歩はないです。こうした教えは前々監督の宮台俊郎さん(現在はOB会長)から私が現役時代に教わったことでもあります。自己管理ができない人間が野球で上手くなれるかと言ったらそうじゃない。私は卒業後に会社員として働いた経験もありですが、一般社会で私生活がだらしない人間が仕事で能力を発揮できるかと言われればやっぱりそうじゃないんです。全員が全員、プロ野球選手になつてくれれば一番いいのかもしれませんが大半の選手は一般企業に就職していきまふ。今、唐澤監督と目指しているのも寮生活、学校、野球の三つを通じた社会に適用できる人材づくりなんです。だから私は全体の生活の中で野球は2割がいいと思っています。

実生活で必要になる挨拶であるとか掃除であるとか、学生たちの自己管理を私は指導する立場にあるので、私があしなさいと命令するのではなく、自然とそれができるように指導していきたいと考えています。選手たちも、もう高校生ではないですし大人としての自覚、社会人としての自覚を考えれば当たり前なことでもあります。今の選手

たちに伝えたいのは、もつと読書をしてほしいということ。今までのスポーツ新聞しか見ていなかったものが、日経を読むようになると、今までの自分になかった知識を吸収していけるような物の考え方をしてもらいたいですね。

私は社会に出て、こんなに勉強しなければいけないのかと痛感しました。毎日がその連続です。だから読書をするによって精神的な余裕も生まれ、しつてはグラウンドに立つたときの視野もぐんと広がる。そこは今の選手たちに勧めたいですね。実際にそこはプレーに表れますし、そうできる選手を育てていきたいと考えています。



Ryoichi Karasawa

スポーツという厳しい勝負の世界では、馬鹿になるのも必要なんだ。

野球人口を増やそうと地元の少年たちを招いた野球教室も開き、学生も子どもたちに教えることで改めて勉強になることもあり、その効果は絶大だ。唐澤は今後もさまざまな形で新しいことを取り入れようと考えている。「言つてしまえば戦う前の準備です。今、自分が何をすればいいのか、それを普段から考えることで、グラウンドでの行動も変わります。上からただ言われたことだけをやるんじゃないで、自分から積極的にやつていくことで、新しいアイデアが生まれてくる。高校までは言われたことをしっかりとこなす子が多いと思うんですけど、大学野球はそうじゃなく自分から何をしなければいけないのか考える野球。それがプレーに直結すると思いますし、その辺のことをいつも伝えています」

選手と一緒に成長する アニキのような存在

今のところ新チームの主力メンバーは新四年生が中心。下級生には甲子園経験者や強豪校で主軸を務めた有望株もいるが、彼らと実も熟した四年生では精神的にも、能力的にも決定的な差があるという。大学野球とはそういう所だと唐澤は強く言い切る。プライベートではオンとオフをはっきりさせたいという強い意志を持つている。「変な話、昔はこうだったと言つても今の学生たちには通じないと思うんです。そういう意味ではこちらが今の子どもたちに合わせていかなきゃいけない部分もあると思う」

「寮も一緒にですし、コーチ時代から自分たちを指導してくれているので、何かと相談しやすい部分があります。監督からも気軽に声をかけてください。本音が有りにくいですが」

監督就任一年目、選手と共に、成長する指導者の姿がここにある。

その一方で苦悩もある。選手と監督としての距離の問題だ。こちらから歩み寄るばかりでは、選手の自主性を損ねてしまう危険性がある。願わくば選手の方から、もつと自分に近寄つて欲しい、もつと意見を出してほしい。そう考える自分もいる。

「そうするとチームの中で浮いた存在に見えてしまふのはあると思うんです。自分も同じ道を通つて来ているから。ただスポーツという厳しい勝負の世界では、時に馬鹿になるのも必要なんだと思っています。馬鹿になる必要もあるけど、人に馬鹿にされちゃダメだと、学生たちにはそれをいつも伝えています」

今オフ、帝京大学ラグビー部の2年連続日本一をスタンドで見届けた。その隣には帝京大学硬式野球部のOBで昨年のプロ野球日本一に輝いた千葉ロッテマリーンズの里崎智也が座つていた。

からさわ りょういち
1969年生まれ。大阪府出身。
上宮→帝京大→東芝(内野手)
帝京大のOBで1999年から
12年間コーチとして帝京大学
硬式野球部を指導。昨秋に行
われた首都大学野球二部の
東経大との入れ替え戦では監
督代行としてチームを指揮し
て連勝。一部残留へ導いた。

下剋上の旗頭

キャプテン 多田 圭吾

あの悔しさを胸に
気持ちには確実に変化した。

内野のキーマンとして、

帝京大に欠かせない存在となった多田圭吾。

昨年は自己最高のアベレージを叩きながら

チームは下位に低迷した。

「あの悔しさは忘れない」

主将として迎えるラストイヤー。

大学生活の集大成を今季にぶつける。



今もあの日のことは忘れていない。

2010年10月22日、秋のリーグ戦を6位で終えた帝京大学硬式野球部は東京経済大との二部入れ替え戦を翌日に控え、身も震える想いでその日を過ごしていた。

負ければ8年ぶりの二部降格、多田にとっても大学生活最後の二年をここで過ごすことになる大きな意味合いを持つ試合だった。

「なんとしても二部に生き残ろうぜ」

大一番の前に、多田は試合に起用された三年生数名に声をかけ、士気を高めた。

しかし気負いのせいか、入れ替え戦で多田は

思うようなプレーができなまま終わった。

チームは仲間達の奮闘もあり、なんとか部

残留を決めたのだが、多田の中には釈然としない想が残った。

「自主練習をしているキャプテンの姿を見て、自分たちはもっと頑張らなくちゃいけないんだと考えさせられます」

二年生でチームのムードメーカー的存在の河合賢人も多田に強く影響を受けている一人だ。他のチームメイトに聞いても多田の練習量を否定する声はない。少しずつ、その気持ちもチーム内でも浸透し自主練習をする選手の数もだいぶ増えたと唐澤良監督も口にする。昨秋の悔しさを胸に多田を初め、帝京大学硬式野球部は確実に変化しているのだ。

「自主練習をしているキャプテンの姿を見て、自分たちはもっと頑張らなくちゃいけないんだと考えさせられます」



主将として、選手として、
一歩ずつ成長していく

しかし、今年1月からコーチに就任した秋山満の目にはほそれではまだ物足りないと思っ

ている。

「人一倍に練習をして、周りを引っ張るのは主

将として当然のことなんです。大事なのは自

分だけのことに精一杯にならずに、怪我でグラ

ウンドから離れている選手を含めてチームをひ

とつにまとめること。(多田には)もっと広い視

野を持つと伝えています」

今春の静岡キャンプでも人一倍声を張り上

げ、周囲の選手たちにも積極的に声をかけて

いる多田。その成長に秋山も目を細めている。

「非常に努力家だと思います。上がそうしてい

るから下もやる。非常にいい傾向じゃないで

しょうか」

主将として、選手として、一歩ずつ成長を続

ける多田。唐澤監督、秋山コーチの助言もしつ

かりと自分に吸収している。

最後に自身のプレースタイルについて聞いて

みた。

「けっして大きいのを打てるわけじゃないし、足

が特別速いわけじゃない。つなぎのポジションと

いうか、そういう役割だと思っています」

打線だけじゃなく、チームとスタッフ全体を

つなぐ「つなぎのキャプテン」多田圭吾。彼を中

心にした新生・帝京大学硬式野球部の今季の

活躍に注目したい。

Keigo Tada

野

球

部

を

陰



04

Naoya
Maehashi

学生コーチ **前橋直弥**

チームのために
憎まれ役を
買って出ます。



Asano
Satoshi

学生コーチ **浅野智**

チームを裏から
支える黒子的な
存在に徹します。

帝京大学硬式野球部を陰で支える存在。それが学生コーチとマネージャーだ。あるものはグラウンドで監督のサポートを、あるものはグラウンドの外からチームのサポートをして、チームを潤滑に運行している。まさに裏方と呼べる存在だ。球場で練り広げられる熱戦ばかりが大学野球じゃない。裏方と呼ばれる彼らにも人知れぬドラマがあった。



Kamijyo
Hiroki

主務 **上條大貴**

将来のために
主務の仕事を
まっとうします。

父の夢を背負って

「大学を卒業して上のクラスで野球ができるのは部員の中でもほんの握り。だから野球の技術よりも一般社会に出て通用する人間に育ってもらいたいです」唐澤良監督のこの言葉を、まさしく体現している学生がいる。

四年生の前橋直弥と浅野智、上條大貴の三人だ。現在は学生コーチと主務、それぞれの肩書きを持つ彼らの役目は他の部員と少し異なっている。

前橋の出身は東京都の豊島区、高校は山梨県の帝京第三高校へ進学した。二年秋から右翼手として活躍し、2007年夏の山梨大会ではベスト8に貢献、幼いころから息子の自主練習に付き添いながらその成長を見守っていた父哲郎さんの自慢ともいえる息子だった。前橋は高校を卒業すると同時に、自分の野球人生に区切りをつける考えていた。

「社会という違うフィールドで早く戦いたい」進路は就職を希望した。当時は野球を続けるために進学という選択肢はなかったのだ。しかし、そんな息子に父が「言だけ語りかけた。」「お父さんにもう少しだけ夢を見させてくれないかな」

父の思わぬ一言に前橋は動揺した。

小二で野球を始め、試合のときはいつも欠かさず自分を応援してくれた父の初めての願い。「お父さんがそこまで言うなら、やってみるか」息子は少し照れくさそうに進学を決意、その後帝京大に入学して硬式野球部の門を叩いた。

しかし、大学球界の世界は前橋の想像以上に高い壁となつて立ちほだかった。上級生との力の差は歴然で、全国各地から集められた同級生との出世競争も遅れを取

るようになり、だんだんと気持ちが折れそうになった。

そんな気持ちを奮い立たせたのは進学前に父から託された「もう少しだけ夢を見させてくれないか」という、あの言葉だ。小柄な体を精一杯大きく見せて日々の練習に食らいつた。

選手としての区切り

三年春、春季リーグが閉幕して間もないころだった。当時、監督を務めていた吉田勉氏から前橋は学生コーチへの転向を勧められる。「学生コーチになれ」ということは選手を諦めるということですからかなり悩みました」

泣きたい思いを我慢して、前橋は父へ連絡をとった。すると父は、「あのことは自分で決めなさい。父さんは十分、夢を見せてもらったから」

数日後、ノックバットを手にしてグラウンドで大きな声を張り上げる前橋の姿があった。彼の中にもう迷いはなかった。

「今年から僕らは四年生になるのでチームを引張って行こうとか、僕らがやらぬことには下がつてこないと考えるようになりました。自分はその中でも学生コーチの立場もあるので行動であったり、発言であったり、どういう人間なのか全てを見られてるので、そこら辺は学生コーチになりましたの昨年よりだいぶ考えるようになりましね」

全体練習が終わる際に戻つても、前橋の仕事は終わらない。学生たちの体調管理、監督と選手との橋渡し役、隣部屋で主務を務める多田圭吾とはチーム状況について連日のミーティングを行う。今では学生コーチという仕事に

ちろとした遣り甲斐も感じている。

「多田は選手サイドでチームのトップ、自分は野球部にいる学生の中で番上の立場だと思っているので、将来は運営業として羽ばたく夢を持つ前橋。彼ならきつとどんな苦難も乗り越えていけるだろう。」

グラウンドの外を支えるもう一人の学生コーチ

前橋がグラウンドでノックバットを片手にする一方で、もう一人の学生コーチである浅野智はグラウンド外で選手をサポートしている。

「前橋が」表でカンカンやつてくれるので、自分は裏でそのサポートをするという感じです」グラウンドで元気がない選手を見つければ、真っ先に声をかけてその様子を監督に伝える。前橋が陽の存在なら、浅野は黒子的な陰の存在。浅野の存在があるから前橋もグラウンド内に専念できるのだ。

浅野が学生コーチに配置転換になったのは三年秋のリーグ戦が開幕する直前のことだった。大学進学後、度重なる故障に悩まされた浅野は自ら学生コーチへの配置転換を申し出たという。

「秋のリーグ戦で怪我が再発して、選手としてはここが潮時かなと思いました」

選手時代、故障で腐りかかっていた自分を励まし続けたのが現監督の唐澤良だった。

「監督さんに何か恩返しをしたいと思つて、自分から志願しました」

学生コーチになつて、選手時代は見えなかった部分がたくさん見えるようになったと浅野は言う。自分の気持ちを察して励まし続けた唐澤のようになりたい。自分のような怪我に

悩む選手をサポートする役目を担いたい。浅野が守る現在のポジションは今の帝京大にとつても、浅野にとつても天職といえるかもしれない。

「上級生と下級生、グラウンドの内と外、そこがもつと噛み合えば自分たちはもつと強くなれると思つてます」挫折を乗り越えた彼は選手時代よりひと回り大きく成長を遂げていた。将来は指導者として再びグラウンドへ。

将来は指導者として再びグラウンドへ

主務を務める上條大貴も三年春に選手から主務へ転向した。

高校時代は長野の名門である松商学園で07年の夏に甲子園出場を経験するも、前橋同様に進学して大学球界の壁は厚かった。

「正直、部活を辞めようか考えたこともありました。ですが、将来のことも考えて部に残ることを決めました」

上條の夢は学生野球の指導者として選手を育て、再び甲子園の土を踏むことだ。唐澤監督から学ぶ部分も多く、将来の自分のために良い部分を貪欲に吸収している。

現在の主務の仕事は、客人の接待や遠征先の宿泊の手配など主にグラウンド外で行うことが多い。この経験はいつか自分の役に立つことだと上條は信じて疑わない。

「名刺の渡し方やお客様との対応とかグラウンドにはできないことばかりですからね」

厳しい勝負の世界から縁を引いたせいか、上條の表情はいつ見ても穏やかだ。6月の教育実習を前に目を輝かせている上條。将来は生徒思いの優しい先生になつていこうと決ま

支

え

る

男

たち



Teikyō Spirits



昭和61年
明治神宮大会出場



平成9年
首都大学野球
秋季リーグ優勝



昭和46年全日本大学野球選手権大会出場
個性派集団だったと伝えられる当時のメンバー。
当時は専用グラウンドも持てない厳しい練習環境だった。



昭和46年首都大学野球春季リーグ優勝
帝京大学が初の首都リーグ優勝。当時のメンバーには現OB会長の宮台俊郎氏がいた。

平成9年明治神宮大会出場
愛敬、里崎の黄金バッテリーを擁した平成9年秋。
このときのメンバーには現コーチの秋山満氏の姿もある。



今年から登場する
新ユニフォーム
伝統を受け継ぎながら
新たに進化を遂げる。



OB会長
宮台 俊郎
みやだいとしろう
1949年生。神奈川県出身。
法政二高→帝京大
帝京大学野球部の二期生で、
選手と監督ふたつの肩書きで
リーグ優勝を経験している無二
の存在。現役時代は投手兼内
野手として活躍し、当時のリーグ
最多安打を記録。首位打者も
獲得した。現在はOB会長として
チームをサポートしている。

て鍛え上げられたチームは創部後わずか5年
のスピードで首都大学一部優勝を飾るミラクル
を起こした。昭和46年春の出来事だ。
投手から遊撃手に転向した宮台は首位打
者を獲得、このとき記録したリーグ最多安打
記録25本は、東海大の原辰徳(現読売ジャイ
アンツ)が記録更新するまで守られていた。
宮台の卒業後の帝京大には「首都大学リ
グ屈指の左腕」と評された益山性旭が入部し
た。大学卒業後にプロ入りを果たした益山は
エースとしてチームを引っ張ったが、惜しくも栄
冠には届かず、2度目の優勝は16年後の昭和
61年の秋までお預けとなった。
時代が平成に変わると、宮台が新監督とし
てチームに招かれた。後に東北楽天イーグルス
で活躍する愛敬尚史や現千葉ロッテマリーンズ
の里崎智也がこのときに入部。1年春から非
凡な才能を発揮した愛敬はいきなり春のリー
グ戦で6勝を挙げて、リーグの最優秀投手に
選ばれた。

その後、全日本にも呼ばれるほどに成長し
た愛敬と里崎の二人は、98年の日米大学野球
で、ひとつ年上の投手・菊池明人と共に出場。
里崎は全日本で四番を任せられた。
そうして迎えた平成9年の秋季リーグ戦
では、この三人を中心にメンバーが結束して優
勝。最高殊勲選手には打率・457で首位打
者を獲得した二塁手の西田朋生が選ばれ、ベ
ストナインも9人中5人が独占した。
今日の帝京大学硬式野球部だが、この度、
唐澤良監督の提案が元となりユニフォームを
新調することになった。
「きっかけは平成9年優勝時のオールドユニ
フォームを着て、試合したことです。全日本の
メンバーを多く輩出した当時の強さをもう
一度、その想いがこのユニフォームには込められて
いるんです」
昭和46年のリーグ初優勝から今年で30年。
再びミラクルは起こるのか。伝統を受け継いだ
帝京大学硬式野球部の新たな挑戦が始まる。

昭和39年に東海大学、成城大学、武蔵大
学、日本体育大学、東京教育大学、現在の筑
波大学の5大学でスタートした首都大学野
球連盟。
帝京大学が首都リーグに加盟したのは、そ
れから3年後の昭和42年のこと。当時は専
用グラウンドも持たず、近隣の八王子や府中
球連盟。
昭和39年に産声をあげた
首都大学野球連盟。
帝京大学硬式野球部も昭和42年から
同リーグに参加し、
春季1回、秋季2回の合計3度
リーグ優勝を果たしている。
この項ではその歴史を
簡単に振り返ってみよう。

そんな個性派揃いのチームだったが、実力は
確かなものだった。
「当時はブルペンなんてなかったので、畑を耕す
トロを借りてきて、空手道場の真裏に自分で
投球練習所を作ったりもしました(宮台)」
野球が好きで、日々の練習に工夫を凝らし
などの市営球場に空きがあるときに全員が
集まって練習する決して恵まれた環境のス
タートではなかった。
創部2年目には現OB会長の宮台俊郎氏
が入部。部員も年を追うごとに徐々に増えて
いった。
しかし、定期的な全体練習ができない状態
では急激にチームの結束が深まるわけもな
く、中には監督に歯向かい練習中にグラウン
ドを去る学生まで現れて、チームはバラバラ
だった。

About Teikyo University Baseball Club

Vol.
1

帝京大学 硬式野球部の歩み

The History of Teikyo University baseball club

卒業後の主な進路

プロ野球へ進んだOB
益山 性旭(S51年卒→阪神・投手)
佐藤 康幸(H6年卒→中日→広島→中日・スタッフ)
愛敬 尚史(H10年卒→近鉄→東北楽天・投手)
里崎 智也(H10年卒→千葉ロッテ・捕手)
窪田 淳(H11年卒→阪神→オリックス・投手)
山本 賢寿(H15年卒→巨人・投手)
OBの進んだ独立リーグ
北信越BCリーグ
(石川ミリオンスターズ、富山サンダーバース)

社会人野球へ進んだOBの就職先
朝日生命、いすゞ自動車、王子製紙吉小牧、河合楽器、鷺宮製作所、新日本製鐵君津「かずさマジック」、
新日本製鐵名古屋(東海REX)、住友金属鹿島、東京ガス、東芝、日産自動車、日産自動車九州、日本IB
M野洲、日本新薬、日本石油、日本通運、ニチダイ、日立製作所、七十七銀行、富士重工、松下電器、ミキ
ハウス、明治安田生命、三菱重工名古屋、ヤマハ、ローソン、JR東日本、JR東日本東北、NTT西日本、相
模クラブ、茨城ゴールデンゴールズ、熊本ゴールデンラークス、バイタルネット、ヒタチエクスプレス、シティ
イト岡山、王子製紙、ジェイプロジェクト、エナジェックほか

軟式野球へ進んだOBの就職先
佐藤薬品工業、京葉銀行、常陽銀行、東芝情報機器、旭鋼管工業、ベストキャプティ、日立厚木、青梅
信用金庫、千葉銀行、城北信用金庫、リコーロジスティクス、サンリツ、静岡ガス、佐川コンピュータシ
ステム、三洋電機ほか

22年秋	22年春	21年春	21年秋	20年春	20年秋	19年春	19年秋	18年春	18年秋	17年春	17年秋	16年春	16年秋	15年春	15年秋	14年春	14年秋	13年春	13年秋	12年春	12年秋	11年春	11年秋	10年春	10年秋	9年春	9年秋	8年春	8年秋	7年春	7年秋	6年春	6年秋	5年春	5年秋	4年春	4年秋	3年春	3年秋	2年春	2年秋	元年春	元年秋
6位	5位	5位	5位	4位	4位	5位	4位	4位	6位	3位	5位	6位	3位	3位	2部優勝	6位	5位	3位	6位	3位	2位	2位	3位	5位	4位	優勝	3位	4位	2位	3位	3位	5位	4位	5位	4位	4位	6位	5位	5位	5位	6位	2部優勝	2部優勝

63年秋	63年春	62年秋	62年春	61年秋	61年春	60年秋	60年春	59年秋	59年春	58年秋	58年春	57年秋	57年春	56年秋	56年春	55年秋	55年春	54年秋	54年春	53年秋	53年春	52年秋	52年春	51年秋	51年春	50年秋	50年春	49年秋	49年春	48年秋	48年春	47年秋	47年春	46年秋	46年春	45年秋	45年春	44年秋	44年春	43年秋	43年春	42年秋	42年春
5位	3位	5位	5位	優勝	5位	3位	3位	4位	2位	3位	3位	4位	4位	5位	4位	2位	3位	3位	4位	5位	4位	4位	5位	4位	5位	3位	3位	3位	2位	3位	3位	2位	2位	2位	優勝	5位	3位	3位	2位	4位	2部優勝	2部7位	

帝京大学硬式野球部
首都リーグの順位

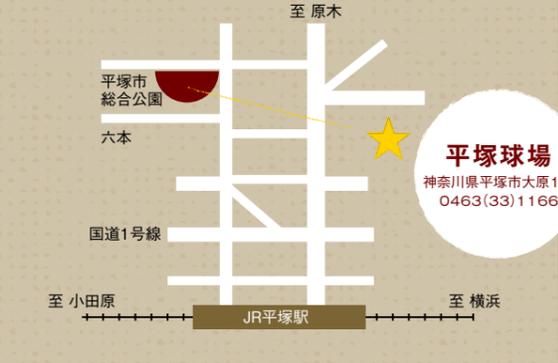
ACCESS

- ・東京モノレール 流通センター駅より徒歩15分
- ・JR大森駅東口から京浜急行バス「平和島循環」「京浜島循環」で「倉庫センター」下車徒歩10分
- ・京浜島循環「昭島島循環」「城南島循環」
- ・大田市場で「流通センター前」下車徒歩15分



大田スタジアム
東京都大田区東海1-2-10
03(3799)5820

- ・JR平塚駅より徒歩20分
- ・JR平塚駅北口よりバス4番線「平塚球場」下車
- ・小田急線伊勢原駅南口よりバス3番線(大田・横内・総合公園経由、または平間・大島経由の平塚駅北口行き)「平塚球場」下車



平塚球場
神奈川県平塚市大原1-1
0463(33)1166



日体大健志台球場
神奈川県横浜市青葉区
鴨志田町1221-1
045(963)7926



等々力球場
川崎市中原区等々力1-1
連盟携帯
090(8587)6816

SCHEDULE

年間スケジュール

6月	全日本大学野球選手権	11月	明治神宮大会
8月	新入生セレクション(予定)	2012年2月	春季キャンプ
9月～10月	秋季リーグ戦	2012年3月	オープン戦



のじり ひさお
野球部 部長 医学博士
野球部員が多く所属する
薬学部で生命薬学講座
や、がん生物化学教室の
教授を務める傍ら、野球
部部長としても活動して
いる。

部長 野尻久雄
選手たちの闘魂は熱い炎で燃えている

2011年の首都リーグは東日本大震災の影響がまだ残る中で開幕を致しました。選手の中には実際に被害に遭われた東北各県の出身者もおりました。しかし、そうした状況下においても気持ち折れることなく、日々の練習に励み、選手たちは今日を迎えております。野球を通して復興へ勇気を与えようと、選手の中にはそうした考えを持ってグラウンドに立っている者もおります。

今年から帝京大学野球部はユニフォームを新調致しました。胸と帽子のマーク部分には炎を連想する赤が入り、それは選手の気持ちも燃えている、そうした部分を表しています。近年の野球部は下位に低迷していたこともあつて、野球を通して被災地に復興の勇気を与える、そんなチームではありませんでした。

しかし、今年はずいぶん。春季リーグの開幕戦では優勝候補の一角である筑波大に連勝して勝ち点を獲得するなど選手たちの闘魂は熱い炎で燃えています。どんな状況下でも諦めなければ、結果は変わってきます。選手たちがそう教えてくれたのです。

今年には野球部にとって新しい出発の年になりました。新たに監督に就任した唐澤良二監督は昨年まで12年間コーチを務め、誰よりもチームを熟知している方です。今年ほどよいムードで新シーズンを迎えた年もないでしょう。そのムードを大事にしつつ、今一度気持ちを新たに、選手、スタッフ、一丸となってチームを盛り上げていきます。皆様応援よろしくお願ひします。



About Teikyo University Baseball Club

Vol. 2

帝京大学硬式野球部が加盟する首都大学野球とは？

What is capital university baseball that the Teikyo University baseball club joins?

2011年の首都リーグの展望

今季から唐澤良二新監督の下、新たなスタートを切った帝京大学硬式野球部。首都リーグのレベルの高さを考えるとその道程は決して穏やかなものではない。まず昨秋まで8季連続優勝を果たしている首都大学リーグの雄・東海大学は帝京大にとって最大の壁となるだろう。最速157キロの直球が武器の主戦・菅野智之は今秋のプロ野球ドラフト会議の目玉と呼ばれる存在で、野手も昨秋の首位打者である景山拓也を中心に、世界大学野球日本代表のメンバーで昨秋の最優秀選手にもなった捕手の伏見寅威、昨秋のリーグ戦で打率4割を誇った二塁手の吉川圭祐、俊足とシユアな打撃に定評がある遊撃手の田中広輔と駒が揃っている。苦戦は免れないだろう。

さらに敵は東海大だけではない。昨リーグ戦の対戦成績で0勝4敗と分が悪い筑波大もかなりの強敵だ。相手主戦は四年生の久保貴大で07年に甲子園で「佐賀北旋風」を巻き起こした甲子園優勝投手だ。昨年の春季リーグでもリーグ2位の防御率1.36を記録している。さらに先発の2本柱として急成長中の二年生左腕・宮谷陽介も控えており、この2投手をどう攻略するかがポイントになりそうだ。

日体大は昨年対戦した4試合中3試合が1点差ゲームでほぼ互角に渡り合った相手。昨年ベストナインにも選ばれた四年生らが相次いで卒業し、新チームは昨秋のリーグ戦で打率3割4分のハイアベレージを記録した富岡壮馬

が中心となる。主戦は昨春のリーグ戦で防御率1.88を残した本格右腕の辻子孟彦。上位進出を狙うにはここを落とすわけにいかない。

昨年唯一の勝ち点を奪うことに成功した城西大は、千葉ロッテの竹原直隆や東北楽天の渡辺直人らを輩出している首都リーグの名門。昨年度から投手として巨人にも在籍していた小原沢重頼氏が監督に就任し、同監督の指導の下、選手達は急成長中である。決して油断がならない相手だ。

最後に紹介する武蔵大は新潟明訓高時代から素質を高く評価されていた永井剛がチームの大黒柱となる。昨年は140キロ台の速球と得意球のシンカーを駆使し、帝京大から完封勝利を収めている好投手だ。打線も昨春のリーグ戦で打率4割6分2厘をはじき出した伊東亮大に、昨秋に外野手でもベストナインに選出された高橋明寛を中心に抜け目が無いチームに仕上がった。今季も優勝候補の一角となる。

対する帝京大学も戦力の強化に余念がない。主戦を任せられる栗山拓巳は140キロの速球と丁寧な低めに集まる変化球が武器で今季の首都リーグでも屈指の好投手になるはずだ。さらに左腕の讃岐奨は大崩れしない安定感を誇り、球威では栗山に勝るとも劣らない本格派右腕の石川健やこの春に急成長した左腕の加美山晃士朗の三年生コンビもあり、投手陣はかなり整備された印象だ。

打線は主将の多田圭吾を中心に機動力を生かした野球が売りととなる。二年生ながらクリンナップとして期待される住吉智司、勝負強い打撃が売りの宮内祐太、さらに小山隼平、齊喜拓也らがポイントゲッターとなり、チームを勝利へ導く。

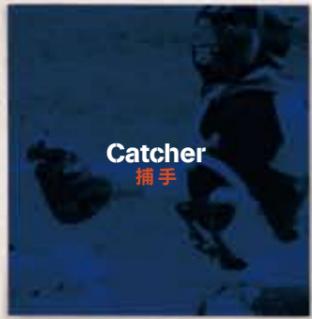
昨秋のリーグ最下位から一気に頂点へ。「下剋上」の戦いが今、始まろうとしている。





Change for victories!!

2011年 帝京大学硬式野球部 プレーヤーズリスト



Yuki Ishii
石井 陽平 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
180cm・77kg / 県 / 日 大三



Naoya Yoshida
吉田 直矢 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
171cm・67kg / 神奈川県 / 日 大学藤沢



Katsunari Kawasaki
川崎 克成 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
176cm・70kg / 石川県 / 金沢市立工業



Ryunosuke Nakamura
仲村 竜之介 医療技術学部
スポーツ医療学科 4年
180cm・75kg / 県 / 学



Hideki Hayakawa
早川 英希 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
175cm・78kg / 神奈川県 / 光明学園
相模原



Yusuke Sakamoto
坂本 有佑 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
176cm・65kg / 岡山県 /



Takeshi Ishikawa
石川 健 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
173cm・73kg / 神奈川県 / 大学
附属



Kenta Kakimoto
柿本 健太 医療技術学部
スポーツ医療学科 4年
184cm・75kg / 神奈川県 / 帝京第三



Takuya Kuwahata
桑幡 拓也 医療技術学部
スポーツ医療学科 4年
178cm・75kg / 愛 県 / 愛工大



Junpei Kayama
小山 隼平 医療技術学部
スポーツ医療学科 4年
173cm・76kg / 大阪府 / 山



Ryo Nagasani
永成 凌 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
185cm・75kg / 神奈川県 / 平



Daiki Tsukahara
塚平 大貴 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
181cm・65kg / 神奈川県 / 大和



Rui Akiyama
穂山 類 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
177cm・70kg / 千葉県 / 二松学舎大学
附属沼南



Yuki Hirai
平井 佑樹 経済学部
経済学科 3年
172cm・63kg / 大阪府 / 帝京第



Takahide Kouma
小馬 貴秀 医療技術学部
スポーツ医療学科 4年
173cm・73kg / 東京都 / 山田



Takumi Koriyama
栗山 拓巳 医療技術学部
スポーツ医療学科 4年
177cm・70kg / 大阪府 / 作陽



Natsuta Yamauchi
山内 一徹 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
170cm・74kg / 宮崎県 / 日向学院



Ryota Kameshima
亀島 稜汰 経済学部
経済学科 1年
179cm・75kg / 鳥島 / 富岡



Masataka Sakata
坂田 昌隆 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
178cm・76kg / 東京都 / 学園



Kazuhito Nakamura
中村 一仁 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
178cm・78kg / 神奈川県 / 藤嶺学園藤沢



Koshiro Kamiyama
加美山 晃士朗 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
177 cm・68kg / 大阪府 /



Masashi Sanuki
讃岐 奨 医療技術学部
スポーツ医療学科 4年
180cm・76kg / 県 / 大宮東



Yohji Takahashi
高橋 陽兵 医療技術学部
スポーツ医療学科 4年
181cm・72kg / 愛媛県 / 三島



Taku Nakano

中野 琢 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
171cm・69kg/東京都/岩倉



Koki Tatsuoka

立岡 孝基 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
169cm・70kg/大阪府/上宮



Masaki Sakai

井 樹 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
180cm・75kg/岩手県/高田



Naoto Ouchi

大内 直人 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
172cm・70kg/神奈川県/相模原総合



Ryoya Taki

瀧 亮也 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
171cm・68kg/千葉県/志学館



Hayato Mochizuki

望月 隼 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
181cm・75kg/東京都/小平



Shinya Kitauchi

北口 真也 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
185cm・78kg/大阪府/日本航空



Shun Kosaki

小坂井 駿 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
177cm・72kg/新潟県/中越



Hideaki Sugiyama

杉浦 英明 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
181cm・67kg/茨城県/常総学院



Ryosuke Watanabe

渡邊 諒介 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
168cm・68kg/神奈川県/日大藤沢



Atsushi Seki

関 篤史 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
175cm・72kg/富山県/高岡商業



Katsuya Takagi

高木 克弥 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
182cm・80kg/愛知県/東邦



Infielder
内野手



Reo Yanagisawa

柳澤 礼雄 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
178cm・80kg/千葉県/銚子商業



Shun Omata

小俣 駿 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
177cm・78kg/山梨県/甲府工業



Ieki Hiraga

平賀 一起 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
183cm・68kg/山梨県/甲府城西



Yuta Nakamura

中村 優太 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
172cm・72kg/愛媛県/宇和島東



Ryo Naganoma

永野間 亮 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
176cm・68kg/東京都/日大豊山



Shigeaki Umeda

梅田 薫紀 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
184cm・80kg/岐阜県/学法石川



Takuya Saiki

齊喜 拓也 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
174cm・75kg/神奈川県/帝京第三



Keigo Tada

多田 圭吾 医療技術学部
スポーツ医療学科 4年
173cm・72kg/岩手県/盛岡第四



Satoru Shibayama

柴山 悟 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
175cm・105kg/神奈川県/光明学園
相模原



Satoshi Sumiyoshi

住吉 智司 経済学部
経済学科 2年
180cm・80kg/神奈川県/駒澤大学



Yuki Goto

後藤 勇希 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
182cm・95kg/茨城県/常総学院



Ryoike Kanai

金井 良輔 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
178cm・68kg/群馬県/前橋育英



Junpei Nakamura

中村 淳平 医療技術学部
スポーツ医療学科 2年
176cm・77kg/岡山県/岡山学芸館



Mizuki Takematsu

竹松 瑞輝 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
169cm・69kg/福岡県/折尾愛真



Yuta Kawano

河野 雄太 経済学部
経済学科 3年
176cm・75kg/神奈川県/桐蔭学園



Hideshi Sakai

酒井 英至 経済学部
経済学科 4年
165cm・60kg/岐阜県/松山



Ryo Kinami

木南 了 医療技術学部
スポーツ医療学科 1年
179cm・82kg/東京都/千葉経済大附属



Kazuma Ohsa

大久 和馬 医療技術学部
スポーツ医療学科 3年
179cm・77kg/東京都/東洋



連盟マネージャー
金森 駿 医療技術学部
 スポーツ医療学科 2年
 174cm・65kg / 東京都 / 一関学院



主務
上條 大貴 医療技術学部
 スポーツ医療学科 4年
 178cm・77kg / 県 / 松商学園



松浦 航平 医療技術学部
 スポーツ医療学科 1年
 174cm・67kg / 神奈川県 / 山梨学院
 大附属



内田 晃平 医療技術学部
 スポーツ医療学科 2年
 171cm・68kg / 神奈川県 / 藤沢翔陵



四宮 圭人 医療技術学部
 スポーツ医療学科 3年
 176cm・75kg / 愛 県 / 愛工大



宮内 祐太 医療技術学部
 スポーツ医療学科 4年
 182cm・80kg / 島 県 / 島商業



Outfielder
 外野手



連盟マネージャー
河合 賢人 医療技術学部
 スポーツ医療学科 2年
 164cm・66kg / 東京都 / 聖望学園



副務
平田 翔太郎 医療技術学部
 スポーツ医療学科 1年
 181cm・88kg / 東京都 /



Staff
 スタッフ



吉川 正成 医療技術学部
 スポーツ医療学科 1年
 177cm・77kg / 神奈川県 / 相模原総合



江頭 勝太 経済学部
 経済学科 2年
 181cm・77kg / 佐賀県 / 佐賀商業



柿本 亮太 医療技術学部
 スポーツ医療学科 3年
 178cm・77kg / 神奈川県 / 帝京第三



渡辺 健太 医療技術学部
 スポーツ医療学科 3年
 178cm・70kg / 東京都 / 子



南 純平 医療技術学部
 スポーツ医療学科 4年
 176cm・70kg / 千葉県 / 愛学園



連盟マネージャー
森 雅恵 医療技術学部
 スポーツ医療学科 3年
 158cm / 秋田県 / 聖霊女子短大附属



連盟マネージャー
澤木 祐太 医療技術学部
 スポーツ医療学科 3年
 178cm・73kg / 愛 県 / 同学園



学生コーチ
浅野 智 医療技術学部
 スポーツ医療学科 4年
 174cm・72kg / 富山県 / 高岡商業



宮内 謙 医療技術学部
 スポーツ医療学科 1年
 164cm・62kg / 県 /



細川 耕平 医療技術学部
 スポーツ医療学科 1年
 174cm・74kg / 神奈川県 /



矢田 直紀 医療技術学部
 スポーツ医療学科 2年
 177cm・74kg / / 第



長崎 治朗 医療技術学部
 スポーツ医療学科 3年
 173cm・75kg / 東京都 / 山梨学院
 大附属



弥永 識文 医療技術学部
 スポーツ医療学科 4年
 180cm・72kg / 福岡県 /



連盟マネージャー
谷本 涼 医療技術学部
 スポーツ医療学科 3年
 174cm・61kg / 岐阜県 / 愛工大名電



学生コーチ
前橋 直弥 医療技術学部
 スポーツ医療学科 4年
 167cm・65kg / 東京都 / 帝京第三



稲村 恭司 医療技術学部
 スポーツ医療学科 1年
 171cm・76kg / 県 / 東



橋本 大樹 医療技術学部
 スポーツ医療学科 2年
 181cm・74kg / 鳥取県 / 鳥取商業



椎名 駿貴 医療技術学部
 スポーツ医療学科 3年
 175cm・70kg / 東京都 / 帝京 子



奥野 翔羽 医療技術学部
 スポーツ医療学科 4年
 174cm・64kg / 大阪府 / 田



硬式野球部の施設を紹介

Introduction of facilities of Teikyo University baseball club

硬式野球部が日々練習を重ねるのは、東京都の隣に位置する神奈川県相模原市。相模湖のそばにある緑豊かな中、野球に集中できる環境が整っています。野球部員としての練習、勉学、生活がこの中につまっています。

タイムスケジュール

07:00	起床
	↓
	掃除(分団で12箇所、選手全員)
	↓
	朝食
08:30	グラウンド集合
09:00	練習開始
12:00	↓
	昼食
16:00	↓
	全体練習終了
17:00	↓
	帰宅
	↓
	各自自主練習
18:00	↓
	夕食
	↓
	自由時間
22:30	↓
	消灯

屋外スペース 合宿所の裏庭にティーバッティング場を設置。照明があるので、遅くまで使用可能です。



◆ 合宿所 ◆

神奈川県相模原市緑区寸沢嵐1048-1

トレーニングルーム 各種のトレーニングマシンを揃えており、フィジカル強化ができます。



個室 各部屋にエアコン完備。季節に関係なく快適に過ごすことができます。



ロッカー 荷物を出し入れするロッカールーム。ここから練習に向かっていきます。



◆ 野球部グラウンド ◆

グラウンド

両翼93m中堅120mの専用グラウンド



夜間照明

6基の照明を設置。薄暮や夜間の練習でも使用することができます。



室内練習所

4カ所で打撃練習が可能。また5人同時に投球練習ができます。



食堂

栄養バランスを考えた食事が提供され、選手の体調管理をサポート。



◆ 学内施設 ◆



電車の場合

- ・東京駅～相模湖駅まで 東京駅～高尾駅(JR中央線快速)
- 高尾駅からひとつ目 相模湖駅下車(JR中央本線) ……約80分
- ・相模湖駅～寸沢嵐バス停まで(バス) ……約20分
- ・バス停～帝京大学硬式野球部合宿所まで(徒歩) ……約10分
- ～グラウンドまで(徒歩) ……約10分



FIGHTING
WITHOUT FORGETTING THE
SPRIT

自ら考え、行動し、個性を発揮できる「自分流」な人材育成。
 自分の才能を見つけ、伸ばし、チャレンジできる大学。
 私たちは帝京大学です。

「自分流」で学べる9つの学部

- 【医学部】医学科 【薬学部】薬学科
- 【経済学部】経済学科／地域経済学科／経営学科／観光経営学科
- 【法学部】法律学科 【文学部】日本文化学科／教育学科／史学科／社会学科／心理学科
- 【外国語学部】外国語学科
- 【理工学部】機械・精密システム工学科／航空宇宙工学科／ヒューマン情報システム学科／
 バイオサイエンス学科／情報科学科(通信教育課程)
- 【医療技術学部】視能矯正学科／看護学科／診療放射線学科／
 臨床検査学科／スポーツ医療学科／柔道整復学科
- 【福岡医療技術学部】理学療法学科／作業療法学科

全国に広がる5つのキャンパス

- 八王子キャンパス／板橋キャンパス／相模湖キャンパス／
 宇都宮キャンパス／福岡キャンパス

帝京大学

TEIKYO UNIVERSITY
 SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2011
 2011年5月23日発行

EDITOR
 K.KAWAMURA
 R.HANDA
 R.NAGATA
 T.ICHIKAWA

PHOTO
 S.KAWAMOTO
 Y.SHIGA

ART DIRECTOR
 S.HASHIMOTO

DESIGNER
 T.KURIHARA

PRINTING
 threelight CO.,LTD

発行
 帝京大学本部 大学 PR 推進室
 東京都板橋区加賀 2-11-1
<http://www.teikyo-u.ac.jp>

本誌掲載記事、写真等の無断複製・
 複製・転載を固く禁じます。
 © TEIKYO UNIVERSITY 2011

■From EDITOR

新宿駅から電車でゆられ1時間。高尾の駅を過ぎると、電車は山麓に向かって走ります。山間を走り、小仏トンネルを抜け、相模湖の駅に到着。ひんやりとした空気の中、湖畔を車で走ること10分。緑に囲まれたグラウンドに着きました。のびのびと野球に集中できる環境に、撮影初日の取材班の心に掛け声が響きます。プレイボール!(K)

「走れ、走れ!」
 ベンチもスタンドも関係ない。ダイヤモンドを駆ける4年生の奥野翔麻にチームが一体となって声を張り上げた。2011年の首都大学野球開幕戦、初回の先頭打者でランニングホームランが飛び出した、あのシーンはその後の帝京大学硬式野球部に勇気と希望を与える貴重なものだったに違いない。春季リーグ成績5勝7敗。負け越しはしたものの、秋に向けて大事な何かをきつと彼らは掴んだことだろう。これからチームは暑く激しい夏を迎える。ここを乗り切れば、きつと新しい何かが見えるはず。それが何か分かるまで信じてがむしゃらに。
 「走れ、走れ」(R)

帝京大学 硬式野球部公式ホームページ



今春より、帝京大学 硬式野球部公式ホームページがオープンしました。最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、硬式野球部に関する情報をお伝えしていきます。

<http://baseball.teikyouuniv.jp/>

帝京大学硬式野球部

帝京大学のリアルを伝える
 インターネット放送局 **Teikyo TV**



近年めきめきと力をつけている帝京大学体育局・運動部の様子から試合の様態、選手の横顔やインタビュー、合宿所の映像など、知られざる学生アスリートの姿をお伝えしていきます。大学スポーツにひたむきに取り組む帝京大生たちの、ありったけの本気を感じてください。

<http://teikyo-u.channel.yahoo.co.jp/>

帝京TV